

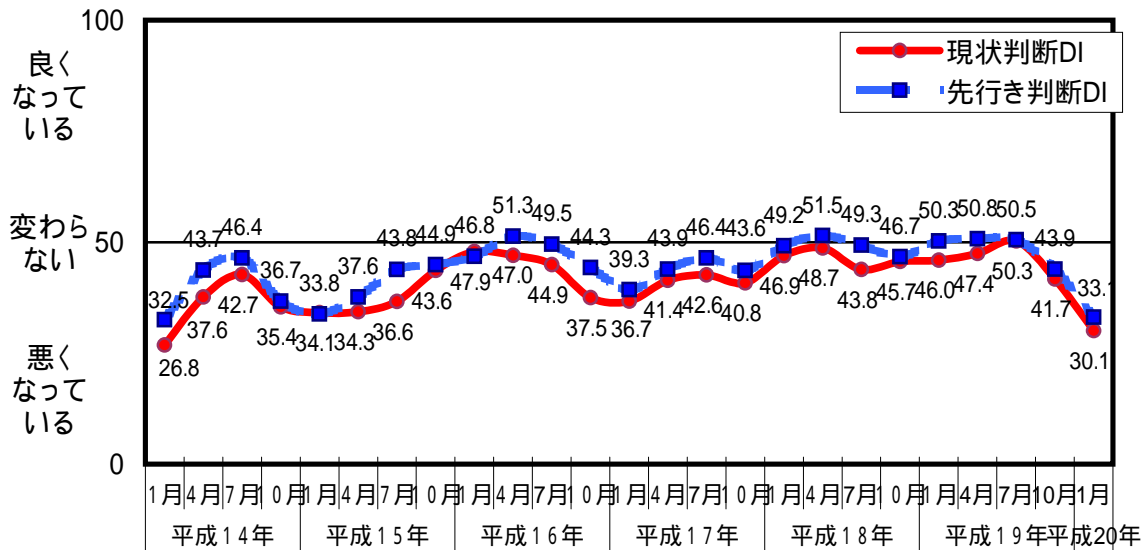
青森県景気ウォッチャー調査 (平成20年1月期)

調査期間 平成20年1月4日～1月17日 回答率99%

概況

1月期は、景気の現状判断DI、先行き判断DI共に前期を下回り、2期連続で横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成20年1月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9165(直通)又は017-722-1111(内線2189)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「変わらない」が25.3ポイント減少し、「やや悪くなっている」が16.1ポイント、「悪くなっている」が13.1ポイント増加したことにより、全体では11.6ポイント減の30.1となり、2期連続で横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、一部において客数の増加があったという声がみられるが、原油価格の高騰による原料費等の値上げが企業収益を圧迫している、ガソリン・灯油価格の高騰や商品の値上げなどで消費者の買い控えがみられるという意見が多かった。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、家計関連で9.1ポイント減、企業関連で19.4ポイント減、雇用関連で17.9ポイント減と、全ての分野においてポイントが減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全ての地区においてポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「変わらない」が20.2ポイント減少し、「やや悪くなる」が18.2ポイント、「悪くなる」が9.1ポイント増加したことにより、全体では前期を10.8ポイント下回る33.1となり、2期連続で横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、卒業・入学期の需要に期待する声がみられるが、原油価格の高騰が続くことによる収益環境の悪化や所得が増えない中での物価上昇に対する消費者の生活防衛の高まりなどにより、先行きに不安を感じている声が多くみられた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、家計関連で9.1ポイント、企業関連で18.0ポイント、雇用関連で10.7ポイント減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全地区においてポイントが減少し、全ての地区で横ばいを示す50を下回った。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=99

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合計	46.0	47.4	50.3	41.7	30.1
家計関連	45.3	45.5	50.0	39.5	30.4
小売	49.2	43.3	45.8	38.8	26.7
飲食	41.7	43.2	50.0	29.2	33.3
サービス	43.3	47.1	54.8	46.3	30.6
住宅	41.7	54.2	50.0	33.3	45.0
企業関連	50.0	52.8	51.4	50.0	30.6
雇用関連	42.9	53.6	50.0	42.9	25.0

回答別構成比(%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなっている	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	13.1	15.3	24.2	13.1	9.1
変わらない	60.6	62.2	54.5	49.5	24.2
やや悪くなっている	23.2	15.3	19.2	28.3	44.4
悪くなっている	3.0	6.1	2.0	9.1	22.2

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n:99

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合計	50.3	50.8	50.5	43.9	33.1
家計関連	50.7	49.0	51.0	42.2	33.1
小売	51.7	45.0	48.3	41.4	24.2
飲食	45.8	45.5	52.1	31.3	37.5
サービス	51.0	54.8	54.8	48.1	39.8
住宅	54.2	50.0	45.8	41.7	40.0
企業関連	52.8	56.9	47.2	48.6	30.6
雇用関連	39.3	53.6	53.6	50.0	39.3

回答別構成比(%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなる	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
やや良くなる	17.2	21.4	22.2	15.2	8.1
変わらない	68.7	62.2	57.6	54.5	34.3
やや悪くなる	12.1	14.3	16.2	21.2	39.4
悪くなる	2.0	2.0	3.0	9.1	18.2

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	44.0	46.7	49.2	41.7	30.0
家計関連	45.5	46.7	47.8	40.2	30.4
小売	50.0	44.4	44.4	38.9	25.0
飲食	50.0	58.3	50.0	33.3	25.0
サービス	37.5	44.4	52.8	44.4	33.3
住宅	50.0	50.0	37.5	37.5	50.0
企業関連	43.8	50.0	50.0	56.3	31.3
雇用関連	33.3	41.7	58.3	33.3	25.0

回答別構成比(%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.3	10.0	20.0	10.0	6.7
変わらない	62.1	70.0	56.7	56.7	30.0
やや悪くなっている	20.7	16.7	23.3	23.3	40.0
悪くなっている	6.9	3.3	0.0	10.0	23.3

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	45.0	40.0	46.7	34.2	28.3
家計関連	44.3	36.4	47.7	31.8	30.7
小売	50.0	27.8	41.7	27.8	25.0
飲食	41.7	33.3	41.7	25.0	50.0
サービス	40.6	46.9	56.3	40.6	28.1
住宅	37.5	37.5	50.0	25.0	37.5
企業関連	45.8	45.8	50.0	37.5	25.0
雇用関連	50.0	62.5	25.0	50.0	12.5

回答別構成比(%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	6.7	16.7	0.0	10.0
変わらない	63.3	60.0	60.0	53.3	20.0
やや悪くなっている	23.3	20.0	16.7	30.0	43.3
悪くなっている	3.3	13.3	6.7	16.7	26.7

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	47.5	57.1	53.4	50.0	37.1
家計関連	45.2	55.3	53.8	47.5	37.5
小売	47.2	58.3	52.8	50.0	36.1
飲食	33.3	37.5	50.0	41.7	41.7
サービス	50.0	50.0	54.2	50.0	35.7
住宅	37.5	75.0	62.5	37.5	50.0
企業関連	53.6	60.7	50.0	57.1	35.7
雇用関連	50.0	62.5	62.5	50.0	37.5

回答別構成比 (%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなっている	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	35.7	34.5	31.0	13.8
変わらない	50.0	50.0	44.8	37.9	31.0
やや悪くなっている	30.0	7.1	20.7	31.0	44.8
悪くなっている	0.0	3.6	0.0	0.0	10.3

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	50.0	45.0	55.0	40.0	15.0
家計関連	47.2	44.4	52.8	38.9	13.9
小売	50.0	41.7	41.7	41.7	8.3
飲食	41.7	41.7	58.3	16.7	16.7
サービス	50.0	50.0	58.3	58.3	16.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	75.0	50.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	0.0	30.0	10.0	0.0
変わらない	80.0	80.0	60.0	50.0	0.0
やや悪くなっている	10.0	20.0	10.0	30.0	60.0
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	10.0	40.0

(2) 3か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	44.8	49.2	49.2	42.5	33.3
家計関連	45.5	47.8	48.9	41.3	35.9
小売	52.8	44.4	50.0	47.2	30.6
飲食	41.7	50.0	50.0	33.3	33.3
サービス	37.5	52.8	47.2	36.1	41.7
住宅	50.0	37.5	50.0	50.0	37.5
企業関連	56.3	56.3	56.3	50.0	25.0
雇用関連	25.0	50.0	41.7	41.7	25.0

回答別構成比 (%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなる	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0
やや良くなる	13.8	26.7	16.7	13.3	6.7
変わらない	58.6	46.7	56.7	56.7	36.7
やや悪くなる	20.7	23.3	20.0	16.7	40.0
悪くなる	6.9	3.3	3.3	13.3	16.7

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	53.3	49.2	50.8	42.5	30.8
家計関連	53.4	45.5	51.1	39.8	29.5
小売	52.8	41.7	50.0	36.1	19.4
飲食	50.0	41.7	58.3	25.0	50.0
サービス	56.3	50.0	53.1	50.0	31.3
住宅	50.0	50.0	37.5	37.5	37.5
企業関連	54.2	62.5	45.8	45.8	33.3
雇用関連	50.0	50.0	62.5	62.5	37.5

回答別構成比 (%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	16.7	13.3	20.0	16.7	6.7
変わらない	80.0	73.3	66.7	46.7	30.0
やや悪くなる	3.3	10.0	10.0	26.7	43.3
悪くなる	0.0	3.3	3.3	10.0	20.0

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	50.8	52.7	50.9	48.3	36.2
家計関連	51.2	52.6	52.5	46.3	35.0
小売	50.0	47.2	47.2	40.6	22.2
飲食	41.7	37.5	50.0	41.7	41.7
サービス	53.6	62.5	62.5	57.1	46.4
住宅	62.5	62.5	50.0	37.5	50.0
企業関連	50.0	50.0	42.9	53.6	32.1
雇用関連	50.0	62.5	62.5	50.0	62.5

回答別構成比 (%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	25.0	31.0	17.2	13.8
変わらない	63.3	60.7	44.8	62.1	34.5
やや悪くなる	16.7	14.3	20.7	17.2	34.5
悪くなる	0.0	0.0	3.4	3.4	17.2

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	55.0	55.0	52.5	40.0	30.0
家計関連	55.6	52.8	52.8	41.7	30.6
小売	50.0	50.0	41.7	41.7	25.0
飲食	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0
サービス	66.7	58.3	66.7	58.3	41.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	50.0	25.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0
変わらない	80.0	80.0	70.0	50.0	40.0
やや悪くなる	0.0	0.0	10.0	30.0	40.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0

4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	東青	観光名所等	お客様が増えてきているのが実感できる。日本のお客様もそうだが、海外のお客様の伸び率が高い。
			パチンコ	年末年始の一時的なものかもしれないがやや好転している。
		津軽	スナック	客数が増えてきている。
			都市型ホテル	当社に限れば利用客が増え、賑やかだ。
		県南	レストラン	今まで販売していなかった、単価の高い商品が売れたため。
			家電量販店	初売りのお客様の来店数増加。
	企業	県南	経営コンサルタント	雇用が安定してきていることと、全体のムードが良くなってきているから。大企業は下向き気味になっているのか？
			食料品製造	注文量が増えている。
変わらない	家計	東青	百貨店	3ヶ月前に比べ、維持しているとは思われるが、所得・収入の使い方については明らかに変化が起きているようです。生活必需品最優先の配分か。
			コンビニ	ガソリン高に加え、カップラーメン等の日常の食品の値上げが相次ぎ、消費を控えるお客様が増えている為。
			家電量販店	原油価格高騰とそれに係わる商品の値上げが家計にはダブルで影響を及ぼし、お客様の足が遠のいている。
			住宅建設販売	特別動きはなく、住宅における金利（ローン）、税制、単位など横ばいであるため。
			競輪場	入場者と売上げは横バイ状態。
			一般飲食店	物価高
		津軽	家電量販店	年末も盛り上がりがなく、いつもの月と変わらない。
			美容院	油の値段に警戒心が強い。特に冬は！
		県南	タクシー	際立って景気がいいような業種が見当たらない。 年末年始のお客様が非常に少なかった。
			商店街	クリスマスや元旦～2日の初売の福袋などは例年どおり行列ができ、賑わっている。
			パチンコ	景気の良くなっている職種もあり、悪くなったままの職種もあり、平均すれば現時点では3ヶ月前とあまり変わらないと思える。
			観光名所等	今までは売上が上がっていましたが、新しい年になり、材料費の値上げに伴い、商品の値上げを考えている会員も多いようです（または、内容量を少なくする）。それが、どう影響するか、わかりません。

現状	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	県南	設計事務所	誰に会っても皆一様に景気が悪い話しかしない。行政で景気対策しなければ見込なし。	
			衣料専門店	変わらず良くないと思います。他店が閉店するというのは、聞こえてきますが、良い話は聞こえません。	
	企業	東青	建設	景況は総じて上向きといえようが、建設業にあつては、官公需逓減などの構造的要因に、建築規制強化に伴う住宅着工急減という要素も加わって先行きが不透明となった。	
		津軽	経営コンサルタント	年末の売上が思ったほど上がっていない。	
		県南	電気機械製造	旧型製品は原材料の値上げで苦しくなっているものの、最近発売になった新製品は順調に受注を増やしているから。	
雇用	東青	人材派遣	日本の景気は既に減速局面に入ったとのこと。本県を素通りし、何の恩恵もなかった。残ったのは増税と物価の高騰だけである。		
やや悪くなっている	家計	東青	レストラン	1月・2月は例年通り、年末のギャップがあると思う。	
			乗用車販売	去年に比べて来店客が少ない。新車の話が出ない。	
			美容院	原油の値上げなどの原因により美容室に来ることを少しガマンする人が多くなるのでは・・・。	
			都市型ホテル	原油高により仕入の高騰、経費の増加が収益を圧迫している。生活に直接ダメージを与えている。	
			商店街	相次ぐ郊外店の影響で苦戦を強いられている。	
			卸売業	値上がり商品が続出し、消費者の買い控えがでてきている。	
			旅行代理店	冬期間は旅行に出掛ける方が少なく、当社商品が売れていない。	
			ガソリンスタンド	燃料油の高騰により消費へのためらいが増幅する。	
			津軽	設計事務所	アメリカの経済、特にサブプライムローン等の影響で株価が下落し、先行きに不安感が強くなっています。
				観光名所等	ガソリン、生活関連物資の値上がり。首都圏と地方の格差（所得）。
	旅行代理店	どの業種にも共通の問題点である原油の高騰に関連しての経費の高止まりがある。			
	百貨店	衣料品全般の販売不振、特に単価の高いコート類が不振。また、ジャケットやスカートなどの主要な商品の売れ行きも鈍い。ついで買いや衝動買いは避け、ぜいたく品や不要の品物は買わないというような消費意識を強く感じる。			
	卸売業	企業の倒産情報など。			
				パチンコ	原油高によりガソリン・灯油の出費が多く、外出を控えている傾向にあるようだ。
				スーパー	原油高騰の為かそれに関連する物の値上げなどでお客様が買い控えたり、戸惑ったりしているように見られます。現実、年末年始の売れる商品（際物）が一部変わってきています。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪く なっている	家計	津軽	商店街	中央の好景気が地方には波及していないように感じられる。当商店街の来街者数からみても昨年度対比減少している。各店舗の売上及び当会のポイント事業売上からも景気は上向いていない。
			衣料専門店	灯油はじめ物価の値上げ、それに伴う心理的作用。
			タクシー	本来繁忙期にもかかわらず、タクシー乗客の減りが見られる。
		県南	スーパー	お客様心理は現在、灯油・ガソリンの値上がりに対し防衛本能が高まっている。余計なものは買わない傾向になってきていると思います。
			観光型ホテル・旅館	ガソリン、重油価格の上昇による直接的・間接的影響。
			一般小売店	ガソリン・灯油の値上がりによる全般的買い控え。(生活防衛)
			コンビニ	さまざまな商品の価格高騰により、消費者購買頻度の減少が目立つ。目的買いの傾向が大きいのでは！！
			スナック	街の人通りが少なくなった。
			ガソリンスタンド	銀行の人と話してもそのように感じているようだ。
			一般飲食店	昨年12月は過去の例を見ても類をみない悪さであり、それが今年になっても良くなる感じが感じられない。
		旅行代理店	特に建設業関連はあちこちから大変だ、資金繰りにも影響してきているという声が聞かれる。倒産が増えてくるのではないか。	
		卸売業	物価が上がり、収入が増えない状況下であり、個人消費が弱い。	
		美容院	来店回数が減っている。来店期間が長くなっている。	
	下北	レストラン	温暖化による干ばつ、洪水、世界各国で農作物の被害。我々の生活に悪影響を、景気は悪くなっている。	
		スーパー	価格のアップが目立ち、食品、衣料とも前年クリアが非常に難しくなっております。	
		ガソリンスタンド	原油価格の高騰による物価の上昇が確実に会社の経費や家計を圧迫していると思われるため。	
		スナック	新年に入っても低調です。	
		タクシー	石油の高騰による全ての生活物資の値上げがかなり消費へ悪影響となったと考えられる。夏場迄良かった営業収入も秋から冬にかけてかなり下がってきている。	
	企業	東青	経営コンサルタント	建設業の不振、特に住宅建設の不振は関連業界にまで影響が見られる。家電、自動車の一部に増加が見られたものの年末の個人消費は低調であった。
			食料品製造	原油高騰の影響により、燃料費、包装資材、原料が値上がりし、メーカーとしては商品の品質保持のために受け入れざるを得ない状況です。その分を売価に転嫁できない場合、収益を大きく圧迫します。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	東青	広告・デザイン	先行き不安からか、予算の削減・縮小が止まらない。
		津軽	広告・デザイン	見積り依頼件数が減少している。
			電気機械製造	原材料や梱包材の値上がりで利益が減少しているため。
		県南	飲料品製造	11月、12月と出荷の最盛期を迎えたが、出荷の盛り上がりにつけ、また、販売店の商品回転も悪いようである。
			紙・パルプ製造	原燃料価格の上昇が続き、企業収益を圧迫している。
		下北	食料品製造	年末年始の消費者の買物動向が守りに入っている。
	雇用	津軽	人材派遣	生活に直接影響を及ぼす灯油、ガソリン価格の高騰が影響すると思う。特に本県のような寒冷地では、ほとんどの家庭で冬場の暖房を石油に依存しており、石油価格の高騰をまともに受ける格好になる。一方、所得は増える傾向がなく、石油高騰の影響で少なからず消費者の消費額は減ることでしょう。
		県南	新聞社求人広告	料金の値上げによる。
悪くなっている	家計	東青	スーパー	ガソリン、灯油の高騰及び食品等の生活必需品の値上げ。
			タクシー	求人率の低さ、賃金の低さ、夏冬とも一時金ナシ！の話題が多い。原油高による灯油代の高騰。本県にあっては不景気の底に着地することがあるのか？今もこの先も光が見えない。
			観光型ホテル・旅館	原油価格の高騰に伴い物価が上昇、灯油・ガソリン・食品とあらゆるものが値上がりし、生活を圧迫して、私どものようなレジャー・観光を自粛しているようで、宴会・宿泊が減少している。
			スナック	相変わらず景気が悪い。悪い今の状態が普通なのか全く解りません。苦しいの一言です。毎日同業者からの苦情があり、お互い悩んでいます。
			一般小売店	灯油・食品等の値上げ。
			衣料専門店	油の値上がりによる「生活防衛」の意識が働いている。明らかに消費者の「買い控え」がみられる。
			津軽	一般飲食店
			観光型ホテル・旅館	各種の値上がりが続く、消費者の生活に対する不安もあり、浪費をしなくなっている。予約も昨年の3分の1に激減している。
			ガソリンスタンド	石油製品の値上がりで消費意欲が減退し、売上げが落ちている。
			一般小売店	売上げ前年比からみて非常に悪い状況にあるため。
		県南	百貨店	昨年末から続く物価の高騰に対する消費者の心理、引き続き将来への不安などにより、買上単価は下降ぎみ。
		下北	一般小売店	原油高の影響がやはり出てきた様子です。衣料品にまわすお金が減ってきている様です。肌着、くつ下の売上は横ばいですが、上着類が大幅に落ち込んでます。

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	下北	都市型ホテル	原油高騰のため、いろいろな方面で価格上昇している。
			一般飲食店	毎年のことですが、だんだん売上げが落ちております。今年に入って1月2日と3日営業しましたが、去年の当日よりまたまた落ちております。
			コンビニ	例年に比べて客数、客単価が落ちている。給料は全然上がらず、灯油等の経費だけが上がっていて、コンビニ等で買い物をしない。
	企業	津軽	食料品製造	石油製品はもとより値上げ攻勢の中で財布のヒモは固くなる一方である。
			建設	あっちこっちで「あの会社があぶない、苦しい様だ」という声が非常に多くなっている。
		県南	広告・デザイン	景気回復が見込めるどころか紙（仕入）の価格が上がり、ますます利益率が悪くなっている。
	雇用	東青	新聞社求人広告	県外の自動車関連の期間工の求人広告はあるが、地元の求人広告、営業広告も鈍い動きが続いている。
		津軽	新聞社求人広告	様々な会合での情報交換の場においても「厳しさが増している」との悲観的な声が多く聞かれる。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	東青	観光名所等	観光業として4月からはオンシーズンとなるが、予約状況もまずまず良く、期待ができる。
			パチンコ	公共事業が多少増えそう。
		津軽	都市型ホテル	4月は新年度。季候も良くなるし意欲も向上する。
			スナック	昨年のお正月にくらべると今年のお正月のお客様数が多かった。だから今年は少し良い年になるのではないかな？
		県南	美容院	ガソリン価格の安定と、国民の立場に近づく政策の効果期待。卒業・入学期の需要の対応。
			パチンコ	格差が開いていくので、平均すれば徐々に良くなるはなっていくと思う。ただ、悪くなっていく職種、業種はこれから更に悪くなっていくと思える。
	企業	県南	経営コンサルタント	雇用が安定してきていることと、全体のムードが良くなってきているから。大企業は下向き気味になっているのか？
変わらない	家計	東青	スナック	お客様のお話をうかがい、何一つ良いお話はありません。今年からは何から何まで値上げですし、どうなる事やら、毎日不安です。それなりに頑張るしかないかなと思っておりますが・・・。
			百貨店	景気が好転する兆しは見られない。現状維持が精一杯ではないか。
			競輪場	景気が上昇する要素が見られない。
			旅行代理店	昨年暮れまでは高額商品が売れていたのですが、今年春頃からは再び売れ出すと思っている。
			観光型ホテル・旅館	春に向けて桜（花見）や県外からの観光客が増えると思いますが、具体的な動きがなく、先行きが不安である。
			コンビニ	生活費を押さえるにも限界があるとお客様のため息がよく聞こえます。本当に今年の寒さも厳しいですが、更に生活も厳しい。
			美容院	年が変わりお客様も良い年になる期待感がありますが、様々な値上げ感を感じているお客様もいるのではないかな。
			衣料専門店	悲観的な見通しを言わざるを得ない。郊外に競合店が出店し、本来であれば価格が下がり、消費意欲が向上するのが、逆に市場が分散化し、価格高騰による買い控えがみられる。
			乗用車販売	必要以外のものの購入が少ないと思う。
			津軽	百貨店
		旅行代理店		全般的には悪くなっていると思うが、幸いに当地方のりんごの販売実績が良い傾向である為。
		県南	一般飲食店	家計を圧迫する材料（油が高騰）、商店を圧迫する原材料の値上げなど消費がどんどん減少する傾向が見られ、さらに景気が冷え込むように感じられる。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	観光型ホテル・旅館	原油価格の不透明感。
			レストラン	今以上の集客の見込める要因が見当たらないため。
			タクシー	世の中総値上げブームで、自分の生活防衛に腐心している。
			設計事務所	中央の好景気に「かげり」が見られる。地方には好景気は来なかった。
		下北	スナック	パブル以降毎年売上げダウンです。この傾向は変わらず。
			都市型ホテル	まだ、冬期間中で集客が望めない。
			ガソリンスタンド	石油製品の高騰はまだ続くと思われるし、景気が良くなる要素が全くといってよいほど見当たらないため。
			一般小売店	灯油を使わなくなる5月くらいまでは、財布に余裕は出てこないのでは？
	企業	東青	建設	景況は総じて上向きといえようが、建設業にあっては、官公需減などの構造的要因に、建築規制強化に伴う住宅着工急減という要素も加わって先行きが不透明となった。
			津軽	広告・デザイン
		県南	食料品製造	原油が下がらない限り現状維持である。
			食料品製造	注文、取引が増える一方で製造原価が素材高で上昇すると思われる、良い面・悪い面ともに有る為。
			電気機械製造	輸出品が多いのですが、サブプライムローン関係で欧米が弱くなってくるのと、中国含む東アジアの好調を足して、当社の仕事全体としては今と変わらないと考えます。
雇用	津軽	新聞社求人広告	しばらくは「良くなる」と思われる材料も無く、見通しは暗い。	
やや悪くなっている	家計	東青	レストラン	まだ、なんとも言えないが、まわりを見ていると、悪くなっているのでは・・・。
			スーパー	悪くなっていると答えるべきと判断するが、回復傾向に期待する。
			一般飲食店	原油の値上がり。
			都市型ホテル	現在の状況がいつまで続くのか先が読めないし見えない。
			住宅建設販売	今後、原油高騰による影響で建材等値上げラッシュとなり需要にひびくため。
			卸売業	消費者の生活防衛。
			家電量販店	物価だけ上がり、収入は変わらない。(税金等が上がり、減っていることもあり)先行きが不安。ますます買物を控えるのでは。
	津軽	観光名所等	ガソリン、生活関連物資の値上がり。首都圏と地方の格差(所得)。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	津軽	一般飲食店	ガソリン・灯油が値上がりしている現在、家庭で控えるのは外食です。
			乗用車販売	ガソリン価格の高騰、物価の上昇等。
			卸売業	さらなる公共事業・公共工事の減少予定から。
			衣料専門店	株価の急落、アメリカ景気の減速。
			タクシー	原油価格が高止まりし、先行きが不透明で見通せない。
			設計事務所	政府の発表しかり、原油高しかりで地方の人々が格差を肌で感じています。一部のごく少数の企業しかもうかっていないのに経済が上向きと発表し続けていた政府の特に政治家の考え方が理解できない。
			パチンコ	雪国では冬季の雪対策（除雪、灯油代等）が切実である。
			家電量販店	本格的な冬場を迎え、ガソリン・灯油等の値上げはいろいろな面で影響があり、景気が良くなると思われぬ。
		県南	観光名所等	お正月にお金を使いすぎて、サイフのヒモが固くなると思う。
			一般小売店	ガソリン・灯油の値上がりによる全般的買い控え。（灯油タンクからの抜き取り事件もニュースをにぎわしている）
			コンビニ	衣・住・食でとらえてみた場合、値下がりする商品がほとんどない。値下がりより値上げが多くては、消費者の生活が今後も苦しいと思われる為。
			スナック	一年中通じて今年が一番悪いと思います。頑張っても下り坂です。よくなる見通しが何も無い。
			卸売業	原材料の高騰により、企業努力では吸収できず、製品の値上げが発表されている。実施されるとさらに消費が停滞する可能性大。
			衣料専門店	原油高がもたらす影響があらゆるものの値上がりにつながり、増税が生活をおびやかしています。不安材料ばかりです。
	下北	ガソリンスタンド	住宅の新規着工が少ないようだ。	
		旅行代理店	冬場の最中だが、原油の高止まりが続いており、スーパーの食品をはじめ値上がりしてきている。消費者は生活防衛のため、いろいろと買い控え行動をとって行くのではないかと。	
		スーパー	ピークの年末年始も苦戦となっており、客数の減少傾向になりつつあります。	
		レストラン	原油高、身の廻りの値上がりが家計に響き、景気は良くなれないと思う。	
		タクシー	石油等エネルギーや生活用品が下がるという予想がつかない現状から消費が落ち込み続けると考えられる。	
	企業	東青	経営コンサルタント	灯油の需要期に入り石油高の影響は多くの業種の収益環境を悪化させると見られる。
広告・デザイン			民間企業は、年度末に向け経費削減に動き出すと思われ、また、官公庁も全体的に予算の精査が進んでいる。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	津軽	電気機械製造	今までは受注量が多かったため原材料の高騰をある程度吸収できたが、受注が減った時点で利益に大きな影響を与えると思うから。
			経営コンサルタント	中央の景気が株価下落、円高により悪くなり、ますます原材料の上昇が続くと思われるから。
		県南	紙・パルプ製造	原油高、諸資材高の影響が今後更に広まってくると思われる。
			飲料品製造	酒造期における燃料（重油）価格の高騰、資材の値上げがこれから徐々に進むことが明らかであるから。
		下北	食料品製造	年末年始の消費者の買物動向が守りに入っている。
	雇用	東青	新聞社求人広告	企業の破産などが出てきている。加えて石油の高騰、住宅の着工減などで厳しい状況下にある。暖冬少雪による影響や物価の上昇が懸念材料となっている。
			人材派遣	住民税の実質増税から始まり、各種小売価格の値上げが続いている。家計は確実に窮迫の状態である。購買力の低下は否めない。
		津軽	人材派遣	最近、株価下落、原油高騰が影響してか、石油製品、食品等の大幅な値上げが実施又は今後予定されております。このような状況の中で、消費手控えの基調が継続することでしょう。
	悪くなっている	家計	東青	ガソリンスタンド
タクシー				原油高の影響はまだ続くと思われる。他の消費（最低の会費確保）の伸びが期待できない。
商店街				青森市内の商業施設のオープンが3月初旬の予定で、それによる影響が懸念される。
一般小売店				値上げが続く。
津軽			一般小売店	10～12月の3ヶ月では10・11月が悪く、12月は少し持ち直したものの、正月になってからは景気が冷えきった感じがする。
			観光型ホテル・旅館	お正月でさえも予約が入らないから3ヶ月先はもっと厳しい（観光には早いし、スキー客もない）。
			商店街	今年は年頭から経済の衰退が株価等にも表れており、地方経済はより冷え込むものと想定される。従って消費もにぶるものと思われる。
			コンビニ	社会保障制度などの改訂による可処分所得の減少が懸念される。
			ガソリンスタンド	石油関連商品も徐々に値上がりし、消費が落ちるのではないかと思います。
県南			スーパー	お客様心理は現在、灯油・ガソリンの値上がりに対し防衛本能が高まっている。余計なものは買わない傾向になってきていると思います。
			百貨店	昨年末から続く物価の高騰に対する消費者の心理、引き続き将来への不安と更に、株価大幅下落による企業投資縮小による更なる消費マインド低下。
			商店街	燃料の高騰により、値上がりがあり、買い控えなければならなくなると思うので。

先行き	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	下北	コンビニ	どれをとってもいい話を聞かない。家計を直撃した灯油代がいちばん響いている。
			一般飲食店	本当にお先真っ暗です。シャッターの閉じたお店も随分ありますが、この方達はどのように生活しているのか、人ごとながら心配しております。明日は我が身にならないよう頑張ってお生きていきます。
	企業	東青	食料品製造	小売価格の値上げが多方面に拡大し、消費者の購買意欲にブレーキがかかる？
		県南	建設	原油価格高騰に伴う物価の上昇による消費の低迷。地方自治体の財政の更なる悪化による公共事業の削減。サブプライム問題の長期化。
			広告・デザイン	仕入れコストが上がったとは言え、すぐに価格を上げることはできないため、利益をけずったビジネス展開となることが予想される。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=99

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	31.1	33.7	35.4	32.8	24.2
家計関連	30.7	32.5	35.5	32.1	23.6
小売	34.2	31.7	33.3	32.8	20.8
飲食	29.2	31.8	43.8	25.0	31.3
サービス	27.9	35.6	35.6	36.1	25.0
住宅	29.2	25.0	29.2	25.0	15.0
企業関連	33.3	43.1	34.7	36.1	27.8
雇用関連	28.6	21.4	35.7	32.1	21.4

回答別構成比 (%)

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	7.1	6.1	11.1	9.1	3.0
どちらとも言えない	33.3	42.9	37.4	31.3	24.2
やや悪い	36.4	30.6	33.3	41.4	39.4
悪い	23.2	20.4	18.2	18.2	33.3

地区別 D I

	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月	平成20年 1月
合 計	31.1	33.7	35.4	32.8	24.2
東青	25.0	32.5	30.0	34.2	20.8
津軽	35.0	31.7	35.0	25.8	21.7
県南	33.3	35.7	37.9	40.5	31.9
下北	30.0	37.5	45.0	27.5	20.0

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	来店客の大幅な減と客単価の低下傾向が続いている。自店だけでの回復策は考えられない。更なる経費削減しか方法はないと思っている。
		家電量販店	弊社の商圏内にホームセンターが3月オープン予定。昨年末も県外企業の進出があり、激戦区となっている。
		美容院	低料金の美容室の倒産などがあり、変動の時期が来ている感じがする。
		乗用車販売	周りを見ても景気の良い話が少なすぎる。
		住宅建設販売	今後サブプライムローンの影響による銀行の貸し渋りがなければ良いが・・・。不安である。
		スーパー	原油製品等輸入品への国家レベルの救済策が必要な時期にきているのではないか。
		レストラン	業者の話聞くかがりでは良くはないと思う。
		観光名所等	海外のお客様が買い物をするようになった。今まではりんごなどが多かったが、箱菓子や小物類も売れるようになってきた。
		タクシー	運輸業として燃料代が非常に多く経費の割合を占めている。走らないと売上げが上がらずバランスシートが崩れっぱなしだ。
	津軽	観光型ホテル・旅館	明るいニュースもなく景気の悪い話ばかりで、明日の希望のない話ばかりです。活力も意欲もない話ばかりです。
		住宅建設販売	物価高、年金不安等マスコミに必要以上に影響されて、神経質になり、先行き不安で消費マインドが冷えきっている。
		旅行代理店	燃料に左右される業種は経費節減で大変苦労していると思う。
		一般小売店	灯油・ガソリンの高騰により、消費の手控えがみられ、地元のデパートなどでもボーナスの大幅カット等の話も聞かれる。
		レストラン	鍛冶町などでのイベント等も計画たおれ。百貨店跡地を会議所が買上げ何もせず売る方向だとか。市の商工会、経済人のトップが考える事ですが、売って利益を上げて何になるのかな？こんな事では商店街の活性化等とんでもない。
		一般飲食店	大きな道路が出来て、メインストリートは車で通るだけです。
		美容院	最近市内だけでなく郊外にも閉店のシャッターが目立つ気がする。
		衣料専門店	弘前地区、リンゴ3年連続高い価格で販売されている。リンゴ生産者の買物多い。
		観光名所等	寄付広告依頼が多い。内々のイベントが多く、外に対するPRが少ない。
		ガソリンスタンド	飲食業でもリーズナブルなところは相変わらず混んでいるが、洒落た高級店が落ち込んでいるようだ。
都市型ホテル	シティタイプのホテルのリニューアルによる休業で宴会が特需傾向にある。再オープン後はどうなるか。		

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	百貨店	流通業は求人倍率は回復基調ではあるが、地元企業に関しては別な合理化（経費対策）が拡大するものと思われる。（各既存店の売上ベースは下降ぎみ。新規採用は拡大へのコントロール）
		商店街	平成21年度開館予定の（仮称）八戸市中心市街地地域観光交流施設ができることにより、経済効果も期待され、街中も良くなるのでは・・・ないかな。平成21年1月の八戸スケート国体も併せて期待できる！
		パチンコ	年末年始はあまりお客様が入らない、と言うのがここ10年ばかりの傾向だったが、今年は想像以上にお客様に入ってもらえた。但し、これを景気の回復と直結して考えるのは早いと思える。
		ガソリンスタンド	年末の食品売場へ行ったが、不景気感は少ないと思った（皆買っていた）。
		レストラン	相次ぐ競合ホテルの進出で勝ち残れるかが不安です。他社との差別化を図り、ビジネスホテル戦国時代を生き残っていきたいです。
		タクシー	生活苦 不気味に笑う 油の値
		スナック	上向きになる要素見当たらず。
		一般飲食店	消費税が上がるのではという不安が仲間から話題になる。今の状況では消費税アップは売上げ減につながると、頭をかかえてる。
		美容院	少子高齢化のため、通勤通学以外の時間帯はほとんど老人の団体行動で街中が一杯です。市や観光イベントも同色の服色のご老人が多いです。
		乗用車販売	市場全体で軽自動車の販売が好調の様に、当社でも1000ccクラスの小型車が好調である。ワンボックスや大排気量の車の販売は下降している。
		卸売業	今年の4月頃迄にはあらゆる分野の製品が値上げとなる。景気に影響を与える。
	観光名所等	今までは、遠くから（県外等）買物に来てくれる人がたくさんいましたが、ガソリンの値上げで、「ガソリン代をかけてまで行かなくても」と思うのではないかと心配です。	
	一般小売店	県民所得が沖縄県に勝ってワーストワンから脱したとか言うけれど、一冬に沖縄の何倍も灯油を使う青森県民の方がずっと生活貧乏だと思う。	
	下北	レストラン	外食産業、いやどこの企業も厳しい年になりそうです。
		タクシー	医師不足は政策で数を少なくしたためと新聞に書かれていた。調査を元に政策をつくるのですが、間違った見方をしてしまうと取り返しのつかないこともある。本調査ではそのようなことのないことを願いたい。
		ガソリンスタンド	やはり石油価格高騰により買い控えが顕著になっており、ガソリンの暫定税率の引き下げに期待したい。
		コンビニ	むつ市自体が沈んでいくような気がしてならない。今この時期に市庁舎を移転しなければならない理由がどうしてもわからない。病院の赤字等問題は山積しているにもかかわらず、失政なのではと思う。市民たちは安い所へ買いにいき、地元高校には目もくれない。大手企業だけがいい思いをしている。
		一般飲食店	あまりにも不景気が続くので、この調査もいつまで続くのか心配しております。でも景気が良いところ、又商売もよい所があるのでしょうか。
	企業	東青	広告・デザイン
食料品製造			せっかくロードヒーティングにしても、この灯油高で使うのを控えている家も見かけます。

分野	地区	業種	自由意見
企業	津軽	電気機械製造	北京オリンピックまでは今のような状況が続くと思うが、それ以降が不安である。
		食料品製造	世の中値上げ攻勢の中で我々小規模業者はスーパーのバイヤーに値上げの話でも持って行こうものなら、値上げをするんだったら切るよ、と言わんばかりである。値上げナシではもう限界である。
		経営コンサルタント	弘前市に精密機械メーカーの新工場が建設される現在、県が自動車関連産業の誘致を進めるのはおかしいのではないか。
		建設	原油価格高騰によるガソリン・灯油等の値上がり、さらに価格転嫁で日常の商品までも値上がりしている。給料はそのままなのにピンチだ。これから先の事は不安でいっぱいだ。
		広告・デザイン	建設業者の新年会での事。どの職種の方々も不安な言葉ばかりで全く元気無し。
	県南	広告・デザイン	代表される小麦・ガソリン等と同じように紙等様々な価格が上がることで今後どのように影響があるのか予想つかない。不安感がある。
		飲料品製造	商品の値上げの時期、いろいろな方面で検討されているだろう。
		食料品製造	従来は地域間格差が指摘されたが、今後県内での地域内・業界内格差（体力差、今まで改革してきたか）が広がると思う。
		経営コンサルタント	原材料高、石油類高騰、中小企業の業績悪化が目立ちます。
		電気機械製造	県の政策でハイブリッドカーや電気自動車を大幅に増やすとのことだが、本当に大丈夫でしょうか。今の技術ではバッテリーは寒い地域では大きく出力が下がるし、ヒーター熱源も別に必要。逆にそれでもやるなら相当の覚悟が必要だと思いますが・・・。
雇用	東青	新聞社求人広告	大手企業の誘致も重要だが、一方で精密機械メーカーの人員確保などの問題もあり、若者の定住策も早急に整備する必要があるのではないのでしょうか。
		人材派遣	初売りにデパートや専門店を何ヶ店か回ってみた。午後にもかかわらず目玉商品が数多く売れ残っていた。
	津軽	新聞社求人広告	昨年末から倒産や閉店に追い込まれている企業・商店が増えているように思われる。
		人材派遣	ニュース等では、株価低迷により投資マネーが原油市場に流れ、原油高騰を招き物価上昇、その結果消費低迷を招いています。所得増加を伴った物価上昇であれば問題はそれほど大きくもないのでしょうか。政府には経済を安定させるようなカンフル剤を是非とも期待したいところです。現在の政治の不安定さが一番起因しているのかもしれないですね。